

南区地域公共交通に関する意見交換会（会議概要）

1. 開催日時

平成27年12月3日（木）午前10時00分～午前11時05分

2. 会 場

新潟市南区役所1階101会議室

3. 出席者（敬称略）

【委 員】

北陸信越運輸局新潟運輸支局運輸企画専門官 佐久間 敏之
新潟南警察署交通課長 阿部 広和
南区自治協議会会長 棚村 真須美
南区自治協議会副会長 田村 義三郎
南区自治協議会副会長 青木 智子
新潟交通株式会社乗合バス部企画調整課 渡辺 健
新潟交通観光バス株式会社営業部営業課 坂井 康人
新潟県下越南部ハイヤー協会会長 和泉 徹
南区役所建設課長 木村 正二，南区役所味方出張所長 牛腸 要一
南区役所月潟出張所長 宮本 康明，南区役所地域課長 永井 康生

【事務局】

南区役所地域課課長補佐 高橋 威志
南区役所地域課企画・地域振興担当係長 伊藤 早苗
南区役所地域課企画・地域振興担当主査 蝦名 淳広

【報道関係】

0名

【傍聴者】

0名

4. 意見交換事項

●南区・区バス運行計画（変更）の概要説明（事務局）

- ・資料1「南区・区バス運行計画（変更）」に基づき説明

●南区・区バス運行計画（変更） 意見・質疑応答

○和泉委員

- ・区バス利用者数について、便毎までわかれば教えてほしい。行きの便だけ利用する人、帰りの便だけ利用する人もいると推測している。
- ・この意見交換会で出た意見については、どう扱われるのか。

○事務局

- ・年度途中での便毎利用者数は集計していない。
- ・この場でいただいたご意見の内容については、この計画（案）を新潟市地域公共交通会議に諮る際に、併せて報告させていただく。

○佐久間委員

- ・新旧計画を比較すると路線延長が伸びる。郊外から病院まで行くのに、どの位、乗車時間が長くなるのか。

○事務局

- ・郊外から病院までの乗車時間は1分長くなる。病院の新築移転に伴い、正面玄関の位置が国道460号側になってしまうので、そちらに向かうのに時間が少しかかる。

○棚村委員

- ・「マーケットシティ白根前」の停留所は、国道を挟んで両側に設置するのか。郊外から乗ってきた人が国道沿いで降車して、国道460号を横断するのに、信号以外の場所を横断しようとする人がいるのではないか。

○和泉委員

- ・終点をカルチャーセンターではなく、マーケットシティ白根前にすれば、国道を横断することなく、商業施設側で降車できるのではないか。

○事務局

- ・「マーケットシティ白根前」について、区郊外に向かう人が乗車する停留所は、国道460号沿い（商業施設側）に設置する。また、郊外から区中心部に来た人にとって、横断歩道を渡るルートが、商業施設への最短ルートとなるよう、降車する停留所を横断歩道の手前に設置することで、車道を渡る人が発生しないよう、配慮している。
- ・なお、「カイトタウンしろね前」は、信号・横断歩道が前後にないので、商業施設に向かう乗客が国道を横断することがないように、商業施設側のみ、片側停留所を設置する。

○棚村委員

- ・「マーケットシティ白根前」商業施設への買い物客による区バス利用は見込めるのか。
- ・今回のルート変更で、区バスで行けるようになった商業施設などには、区バスの広告掲載を依頼した方がいいのではないか。

○事務局

- ・一昨年度に行った南区交通利用実態調査においては、区民の区内移動の目的地として、最も多かったのがこのエリアの商業施設であったので、そこへの買い物客を区バス利用として見込んでいる。
- ・新ルート沿線の商業施設・医療施設等に対して、広告掲載を働きかけたい。

○和泉委員

- ・「マーケットシティ白根前」商業施設の買い物客は、とても多いという印象を持っている。

○田村委員

- ・区バスは収支も大切だが、地域の住民の利便性を第一に考えるべきである。住民が区バスで行ける商業施設や医療機関が増えるのはいいことである。

○佐久間委員

- ・例えば、新潟白根総合病院で受診した後に、マーケットシティ白根の商業施設に立ち寄って買い物する方もいると思う。その区間、区バスを利用すると更に200円かかるが、区中心部の施設から次の施設へと向かう、まちなかでの移動についても、区バスを利用してもらうことを想定しているのか。

○事務局

- ・ご指摘いただいた、まちなかでの移動について、利便性を向上させるため、12月7日より、まちなかを30分間隔で循環するバスの社会実験を開始する。今後、区バスとまちなか循環バスの接続、乗り継ぎについても利便性を高めていきたい。

●南区・区バス運行計画（変更）の概要説明（事務局）

- ・資料2「南区・月潟地区住民バス運行計画（変更）」に基づき説明

●南区・月潟地区住民バス運行計画（変更） 意見・質疑応答

○坂井委員

- ・今回、フリー乗車区間がフリー乗降区間に変更となるが、地元住民の方からの要望があったのか。

○事務局

- ・利用者からご要望をいただいている。安全上の支障がないよう、住民バスの全区間ではなく、従来のフリー乗車区間と同じ区間のみで実施する。

○柵村委員

- ・住民バスの維持という点について、区バスと同じように、企業からの広告掲載の取り組みをこれまで行ったことがあるのか。

○事務局

- ・南区の住民バス支援という点では、今年度より月潟住民バスの補助率が7割から8割に改定されたことで、地元自治会の負担が一定程度解消されているが、今後の利用者減少等で、収支率が2割を切ってくると、住民バスの広告募集も検討が必要と考えている。
- ・ただし区バスは市所有車両、住民バスは新潟交通所有車両、という違いもあるので、その手法については、住民バス運行協議会とともに研究していく必要があると考えている。

●南区・区バス運行計画（変更）の概要説明（事務局）

- ・資料3「南区・乗合タクシー運行計画（変更）」に基づき説明

●南区・乗合タクシー運行計画（変更） 意見・質疑応答

○和泉委員

- ・「白根健生病院前」から「旧白根健生病院前」への停留所名称について、新潟交通バスの同停留所の名称は変わるのか。停留所名称を揃えた方がいいのではないか。

○事務局

- ・新潟交通バスの「白根健生病院前」の変更後名称が未定とのことなので、今回は最小限の名称変更を行う。新潟交通バスの変更後名称が決まり次第、統一したい。

●その他

なし

○事務局

- ・12月17日に開催予定の新潟市地域公共交通会議において、本日まで説明した計画（案）を諮り、本日いただいたご意見を併せてご報告させていただく。